

診察室こぼれ話

最近、新聞やテレビで麻疹（はしか）が流行していると報道されています。最初に感染が確認された患者は、30代の男性で3月17日に台湾から沖縄県に入り、19日まで沖縄本島内を移動したとされています。その後、愛知県でも麻疹が流行っているという情報が流れました。さらに、兵庫県加古川市在住の会社員の29歳男性で、タイで働いている人が、日本に一時帰国した際に、発疹が出現したので明石市立応急診療所をゴールデンウィーク中の5月5日の昼12時ころに受診、麻疹と診断されました。

麻疹は麻疹ウイルスによって引き起こされる感染症であり、空気感染（飛沫核感染）、飛沫感染、接触感染と様々な感染経路をとり、その感染力は強い病気です。

麻疹に対して免疫を持たない人が感染した場合、典型的な臨床経過としては10～12日間の潜伏期を経て発症し、カタル期（2～4日間）には39度前後の発熱、全身倦怠感、結膜炎、鼻汁、咳があります。続く発疹期（3～5日間）には、一旦熱が下がったあと、再び高熱となり、顔面から首、全身へと鮮赤色の丘疹が出ます。そして結膜炎、鼻汁、咳はさらに激しくなります。回復期になると発疹は色素沈着となり退色し、発熱や上気道炎症状も軽快していきます。

麻疹は2回のワクチン接種により、発症のリスクを最小限に抑えることが期待できます。定期接種は1歳の時と小学校入園前年

の2回となっています。

麻疹患者と接触した場合は、接触後7～21日間の健康観察が必要となります。また、ワクチン接種ですが、現在麻疹ワクチンはほぼ枯渇しており、6月中旬まで入荷困難となっています。風疹ワクチンとの混合の麻疹風疹混合ワクチン（MRワクチン）は入荷可能ですが、接種代金が割高となります。過去に麻疹ワクチンを接種したことのある方は母子手帳で確認してください。実際に以前に麻疹にかかり、検査で麻疹と確認された場合は免疫があると言えます。



予防接種も麻疹にかかったことも不明の場合は、血液検査で麻疹抗体があるのかどうかを確認すればよいのですが、検査が集中しており、検査に必要な条件が十分ではなく、一部の検査会社も検査ができない状態が続いています。

あれこれ情報版



麻疹の流行により、ワクチン接種も検査もできない状態が続いています。麻疹・風疹の混合ワクチンは入手可能ですが、麻疹単独なら6,000円のところ10,000円かかります。



ただいま、看護師さんまたは診療補助を含む事務職の方を募集中です。勤務時間、曜日などは相談可能です。お気軽にお問い合わせください。



クリオネを飼っています。普段は冷蔵庫の中にいますが、できれば1週間に1度みなさまにご披露できればと思っています。氷河の下に生息するクリオネの住環境を整えるのはひと苦労です。



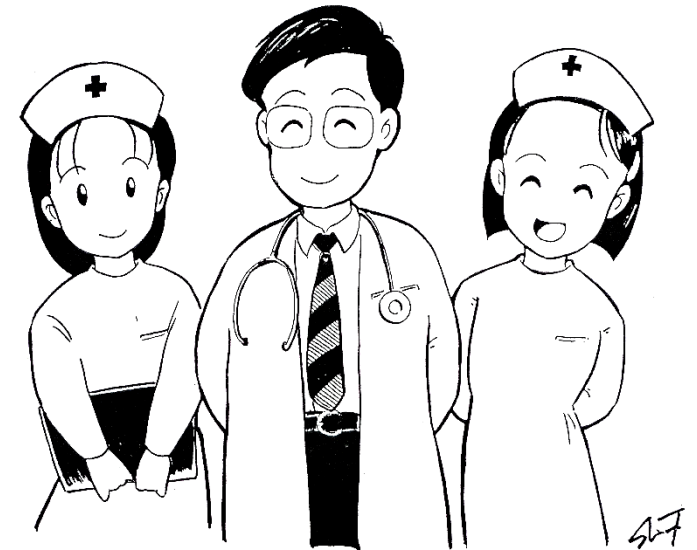
修学旅行以来の伊勢神宮に行ってきました。ゴールデンウィーク中とはいえ、観光客と車の多さに驚きました。今時、小学校では伊勢志摩への修学旅行はスペイン村に行っても伊勢神宮には行かないようですね。



やがて梅雨の季節ですね。急な雨のために、傘を貸し出したします。お気軽にどうぞ。また雨の日には玄関先にタオルを用意しています。ご自由にお使いください。

すこやか通信

'18 5-6月号 Vol.124



児島医院

内科・循環器内科・小児科・皮膚科

神戸市東灘区深江北町 2-8-26

☎078-431-0696